



LGWAN

Local Government Wide Area Network

総合行政ネットワーク

No.
157

➤ 特集 LGWAN-ASPとは？

LGWAN-ASPとは、府省、地方公共団体、公益法人、民間企業等がASP（アプリケーションサービスプロバイダ）として、LGWANを通じて、サービス利用者である地方公共団体に各種行政事務サービスを提供するものです。平成14年度に登録が始まり、15年度から本格的なサービスが開始されました。以来、多くのサービスが提供され、地方公共団体において利用されています。

今回は、LGWAN-ASPと自治体クラウド、LGWAN-ASPの目的及び構成について説明した後、現在のLGWAN-ASPサービスの登録状況について分析し、LGWAN-ASPサービスの利用方法を紹介します。

1 LGWAN-ASPと自治体クラウド

現在、政府では自治体クラウドの推進が提唱されています。自治体クラウドとは、「地方公共団体が情報システムを庁舎内で保有・管理することに代えて、外部のデータセンターで保有・管理し、通信回線を経由して利用できるようにする取組。複数の地方公共団体の情報システムの集約と共同利用を進め

ることにより、経費の削減及び住民サービスの向上等を図るもの。」^{※1}と定義されていますが、これを、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワークであるLGWAN上で実現したのが、LGWAN-ASPです。

総務省が作成した「自治体クラウド解説用リーフレット」^{※2}には、自治体クラウドのメリットとして表-1の五つが挙げられています。

表-1 自治体クラウドのメリット

	メリット	説明
①	コストの削減	情報システムを共同化・集約化することで、「割り勘」の効果が働き、システムの運用コストの大幅な削減が見込めます。
②	業務の軽減	情報システムを共同化・集約化することで、システムの管理・運用に必要な人員や業務の負担が軽減されます。
③	セキュリティの向上	24時間365日の有人監視、厳重な入退館管理などにより、行政情報の高いセキュリティが確保されます。
④	サービスの向上	(①及び②により) 行財政運営の効率化が実現し、浮いた資源を住民向けのサービスなどに再投資できます。
⑤	災害に強い	堅牢なデータセンターを利用することで、重要情報の保全性が高まり、災害時にも迅速な復旧が可能となります。

※1 「経済財政運営と改革の基本方針～脱デフレ・経済再生～」(平成25年6月14日閣議決定) 24ページ脚注より

※2 http://www.soumu.go.jp/main_content/000153859.pdf

2 LGWAN-ASPの目的

LGWAN-ASPは、地方公共団体が品質及びサービスレベルの高いアプリケーションを共同利用することにより、地方公共団体間のIT格差を軽減するとともに、地方公共団体のIT化を促進することを目的としています。また、地方公共団体が独自にシステムを構築するよりも、標準的で経済的なシステムを導入・運用することも目的の一つです。

3 LGWAN-ASPの構成

LGWAN-ASPは、図-1に示すとおり、五つのサービス層から構成されています。LGWAN-ASPサービス提供者は、これらのサービスを地方公共団体又は他のLGWAN-ASPサービス提供者に対して提供します。

①アプリケーション及びコンテンツサービス

各種アプリケーションや情報コンテンツ等を提供します。

②ホスティングサービス

アプリケーション及びコンテンツサービスが稼働するために必要となるサーバ機器や通信機器を提供するとともに、その運用管理を行います。

③ファシリティサービス

ホスティングサービスを構成する機器の設置スペース、電源及び空調、そのための建屋等の設備を提供します。

④通信サービス

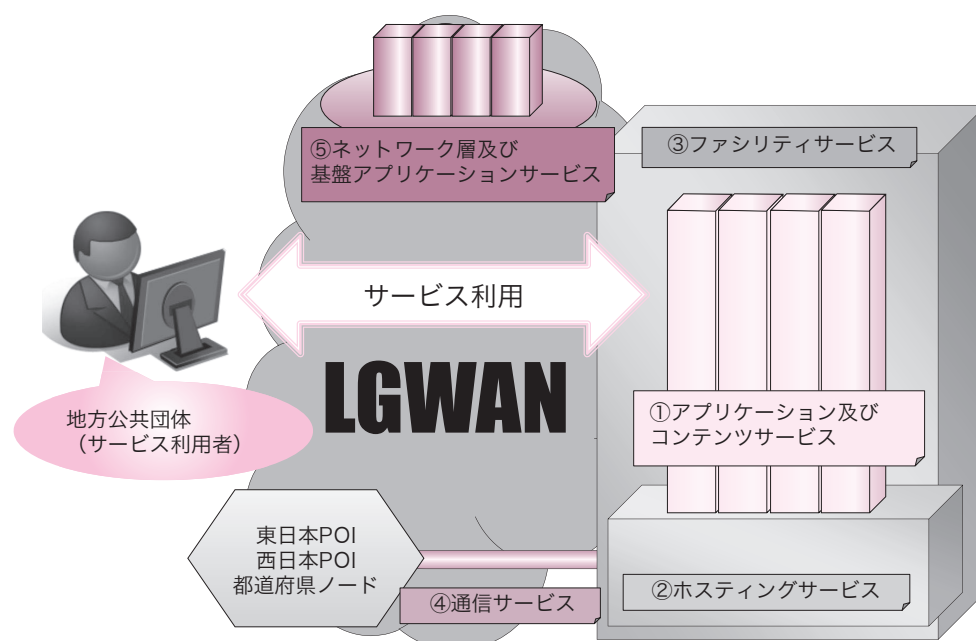
ホスティングサービスの構成機器をLGWANに接続するための専用回線を提供します。

⑤ネットワーク層及び基盤アプリケーションサービス

IPアドレス、ドメイン名管理、基本プロトコル群及びアプリケーション基盤（認証基盤（LGPKI）、ディレクトリ基盤等）を提供します。これらは、LGWAN運営主体が自らの基盤サービスとして提供しています。

以上のサービスの中で、地方公共団体が利用者となって直接利用するのは、①のアプリケーション及びコンテンツサービスです。

図-1 LGWAN-ASPの構成



4 LGWAN-ASP登録数の推移

LGWAN-ASPサービスの登録数は、図-2のとおり年々増加しています。地方公共団体が直接利用するアプリケーション及びコンテンツサービスの登録数も年々増加しており、その種類も増えています。

5 アプリケーション及びコンテンツサービスの分析

図-2のとおり、平成27年8月1日現在のアプリケーション及びコンテンツサービスの登録数は411件ですが、その提供者の内訳は、図-3のとおりです。全サービスの約半数を地方公共団体が提供しています。

図-2 LGWAN-ASP登録数の推移

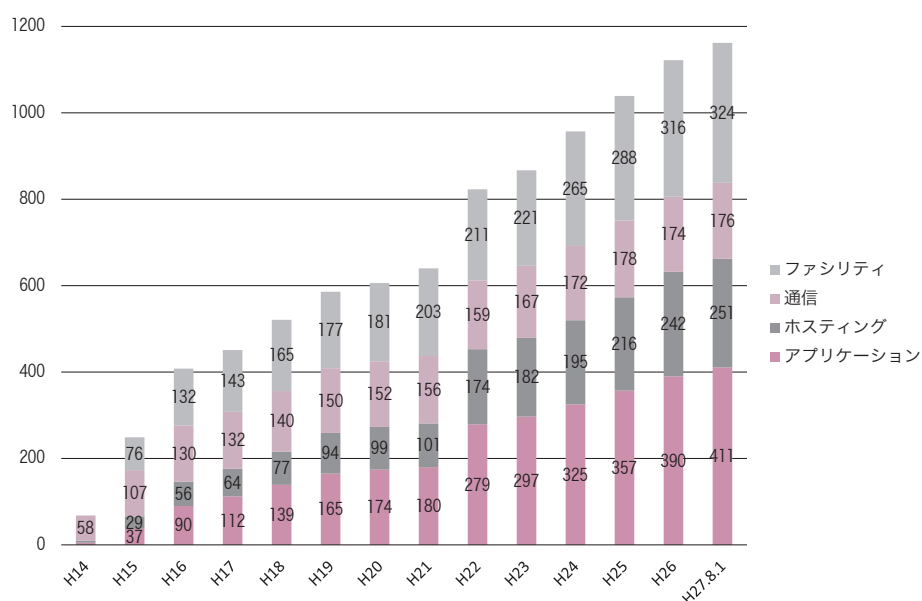
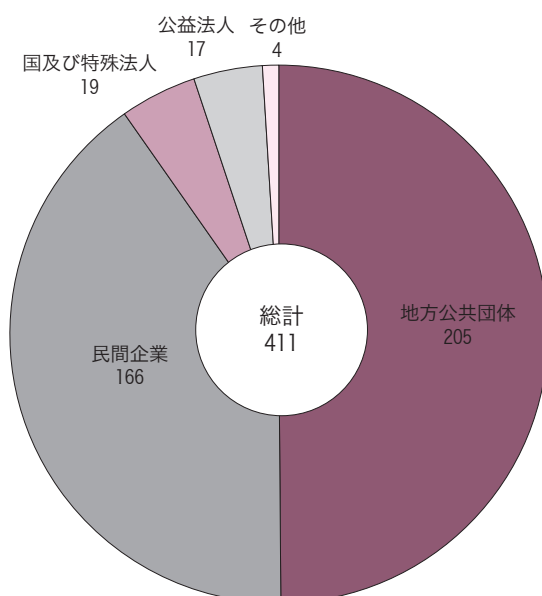


図-3 アプリケーション及びコンテンツサービスの提供者



LGWAN-ASPサービスとして提供されている行政事務サービスには、様々なものがあります。

LGWAN-ASPサービスを開始する際、もしくは変更する際に、LGWAN-ASPサービス提供者がLGWAN運営主体に提出する申込書には、行政事務

分野（提供するサービスがどのような分野で利用されるものであるか）及びシステム分野（どのようなシステムの特徴があるか）について記載する項目があります。これらをまとめたのが、図-4と図-5です。

図-4 行政事務分野別登録状況

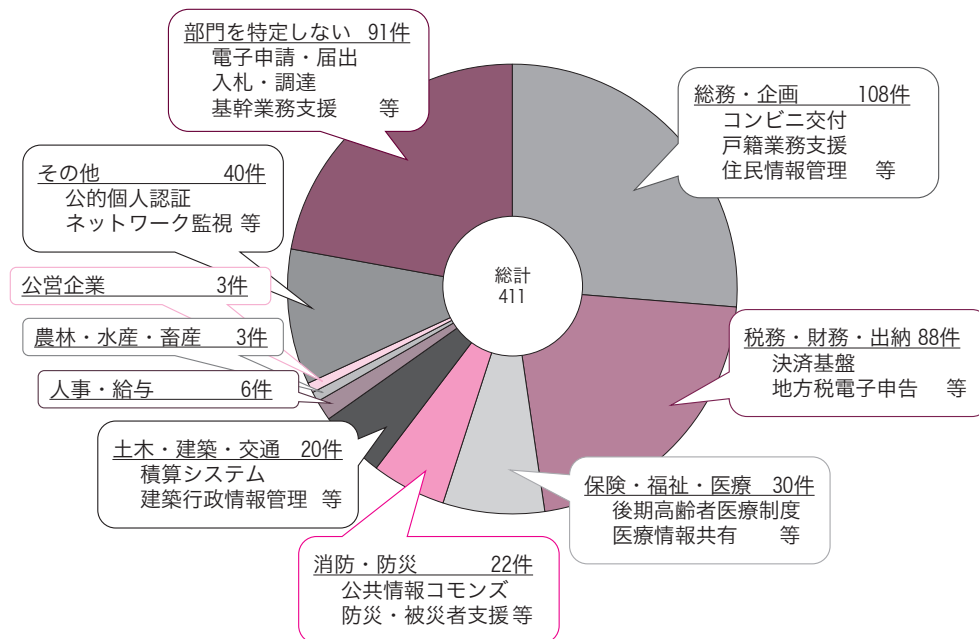
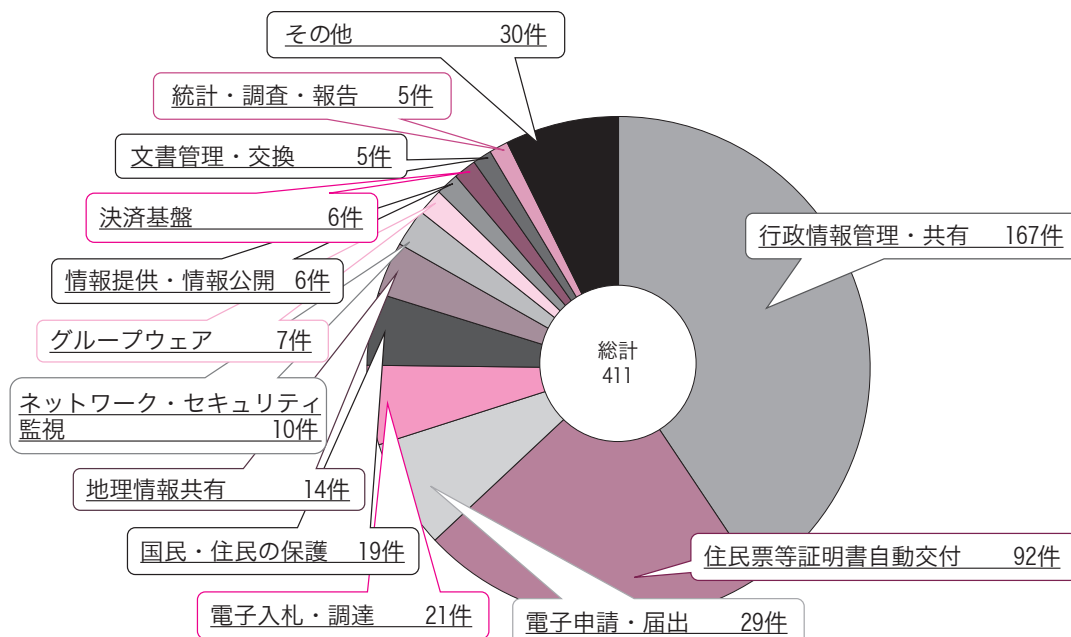


図-5 システム分野別登録状況



図－４から、「総務・企画」と「税務・財務・出納」において利用されるアプリケーション及びコンテンツサービスが全体の約半数を占めていることが分かります。近年の傾向としては、「部門を特定しない」に該当する、基幹業務全般にわたるサービスの登録件数が増えています。

また、図－５からは「行政情報管理・共有」が突出していることが読み取れますが、この中には、国税連携や後期高齢者医療制度にかかるサービス等が含まれます。

6 アプリケーション及びコンテンツサービスの利用方法

LGWAN-ASPアプリケーション及びコンテンツサービスの利用を希望する地方公共団体は、そのサービスの提供者が定める利用約款等に基づいて利用許諾を得ることにより、サービスを利用することができます。その際、LGWAN運営主体への手続きは、原則として必要ありません。

現在登録されているアプリケーション及びコンテンツサービスの概要については、掲載を希望しないサービスを除き、サービス分類（システム分野）又は提供地域ごとに整理の上、インターネット上の地方公共団体情報システム機構ホームページにサービスリスト（https://www.j-lis.go.jp/lgwan/asp/servicelist/cms_15764241.html）として掲載されています。また、月刊J-LISに不定期で掲載されている「LGWAN-ASPのご紹介」のコーナーでは、LGWAN-ASPに登録されているアプリケーション及びコンテンツサービスの紹介を行っています。過去に掲載された記事は、同じく地方公共団体情報システム機構ホームページの月刊J-LIS掲載記事（https://www.j-lis.go.jp/lgwan/report/monthly/cms_15476967.html）から閲覧することができます。

新規システムの導入や既存システムの更改の際は、セキュアなネットワークであるLGWANを利用したLGWAN-ASPサービスの利用をぜひともご検討ください。

LGWAN-ASPサービス登録／接続状況（平成27年10月1日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の登録／接続状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ	登録：437件	■ホスティング	接続：272件
■通信	登録：180件	■ファシリティ	登録：329件

登録／接続済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しています。

https://www.j-lis.go.jp/lgwan/asp/servicelist/cms_15764241.html